

# 地域医療連携だより

2019.12  
第46号**兵庫医科大学病院**〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
TEL.0798-45-6111(大代表)  
<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp>

## 医療支援センター長就任のご挨拶

### 医療支援センター長 池内 浩基



この度「医療支援センター」を担当することになりました炎症性腸疾患（IBD）外科の池内浩基です。IBD 外科とは本学のみ診療科で、消化器外科の中ではマイナーな分野となりますが、本学は、このIBDの専門病院としてIBDセンターを併設し、本邦では最も多いIBDの患者さんが外来や入院で治療されています。私は1987年に本学を卒業後、約2年半を除いて当院で勤務してきましたので、地域の先生方や事務長にも知り合いの方が多くいます。

「医療支援センター」の主な役割は2つあります。一つは地域の医療機関との連携を深め、病診・病病連携を円滑に進めるためのサポートです。阪神間の各医師会及び各医療機関との情報交換を行い、患者さん及び地域の医療機関のニーズを把握し、業務を円滑に進めるため、地域医療連携業務、総合相談業務、退院計画支援業務、そしてボランティア支援業務を行っています。これにより、患者さんの外来受診、入院、退院（転院）、在宅ケアにいたるまで、切れ目のないサービスを提供することができます。もう一つは総合相談業務です。院内はもちろん、地域の医療機関や、医師会、保健所、行政、福祉などとの連携を密にし、患者さんに多面的な支援を行っています。

当院の「医療支援センター」は2006年1月に「地域医療・総合相談センター」として設置され、2017年4月に名称変更し、これまで5人のセンター長が業務に携わってきました。今までのいいところは継続し、患者さんからのご意見があれば改善しながら運営していきたいと考えています。医療支援センターには多くの医師、看護師、ソーシャルワーカー、専門の事務職員が参画しています。お困りのことがあれば、気軽にご相談いただければと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 最新の皮膚レーザー装置を導入しました



形成外科 主任教授／診療部長 垣 淵 正 男

形成外科では、熱傷、顔面骨折、切断指などの外傷、口唇口蓋裂、眼瞼下垂、小耳症、多指症などの先天性疾患、母斑、血管腫、皮膚・皮下良性および悪性腫瘍、眼瞼・眼窩疾患、瘢痕・ケロイドなど、全ての形成外科疾患に対して、標準的な治療から高度な先進医療に至る診療を、安全かつ確実に提供できる体制を築いてきました。

この度、皮膚色素性疾患に対する診療の充実のため、最新のパルス幅可変型Qスイッチ付ルビーレーザーを導入いたしました。

以前より、単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症などに用いる色素レーザー（V beam）、皮膚良性腫瘍などに用いる炭酸ガスレーザー、異所性蒙古斑、太田母斑、老人性色素斑、炎症後色素沈着症などに用いる刺青Qスイッチ付アレキサンドライトレーザーによる診療は行ってまいりましたが、この度皮膚色素性疾患治療用のアレキサンドライトレーザーをルビーレーザーに更新し、より充実したラインアップとなりました。

対象となる患者さんがおられましたら、是非ご相談ください。



## がんゲノム医療と遺伝性腫瘍に対する婦人科の取り組み



産科婦人科 教授 鋸 本 浩 志

これまでは、「〇〇がんですね、治療は、、、」と臓器別に治療計画が立てられていましたが、2018年3月にがんゲノム医療の充実が閣議決定され、兵庫医科大学病院は2019年9月にがんゲノム医療拠点病院に指定されました。その使命は、地域の医療機関と共に患者さんそれぞれのがんに固有のゲノムを解析し、適切な治療を提供することです。ゲノム解析は、保険診療による遺伝子パネルに限らず自由診療による解析も可能で再発早期の治療計画立案にも対応しています。また、がんゲノムの解析では、乳癌卵巣癌症候群やリンチ症候群などの遺伝性腫瘍に関連する遺伝子変異が検出されることもあります。該当された患者さんには有効な治療薬が提供できる一方で、その家族の方々の健康管理を担うことも私たちの使命です。兵庫医科大学病院は古くから遺伝性腫瘍診療に取り組み、2001年～2009年には本学先端医学研究所に家族性腫瘍部門が設置され、2012年には関連科横断的な診療体制が構築されました。がんゲノム解析による治験参加だけでなく、当科独自の特定臨床研究も準備しています。また、保険適応外薬剤の自由診療により寛解された患者さんもいます。今後も、がんセンター、遺伝子医療部と共に先進的な診療を行っていきます。

## 「グルテン専門外来」を開設しました



### 精神科神経科 医師 本山 美久仁

グルテンとは、小麦粉から生成されるタンパク質のことです。その弾力性と粘り気は、小麦粉加工食品である、うどんのコシ、パンやパスタのモチモチ感の元になっています。

欧米では、グルテンに対する過剰な感受性を持ち、腹痛、下痢、皮疹、頭痛、頭がぼんやりする、倦怠感、易疲労感、抑うつ、不安などの様々な身体・精神症状を呈する、グルテン感受性患者さんが多く存在することが明らかになっていますが、その多くは、グルテン摂取による症状であることを自覚していません。また、日本ではほとんど調査されておらず、未だ実態が分かっていないのが現状です。

当科では、グルテン感受性と精神・身体疾患についての研究を行っています。そこで、グルテンに関連すると思われる身体・精神症状の疑われる方を対象に、グルテン感受性の実態を調査し、医学的に解明し、新たな治療法を見出す試みの一つとして、2019年10月にグルテン専門外来を開設しました。症状を詳細にお聞きし、グルテン関連抗体の測定、食事相談（グルテンフリー食について）などの、専門的診療を行っています。また同時に、統合失調症、うつ病、過敏性腸症候群（ストレスなどに関連して、腹痛、下痢、便秘を起こす）患者さんのグルテン感受性の研究を行っています。

対象となる患者さんがおられましたら、是非ご紹介いただけますと幸いです。

対 象：グルテンに関連すると思われる身体・精神症状を自覚もしくは、かかりつけ医より疑われた方

担当医師：精神科神経科 山田恒、本山美久仁

外 来 日：第1・第3土曜日（完全予約制）

受診方法：完全予約制です。

紹介受診の場合は、当院の医療支援センターを通じて予約してください。

紹介受診でない場合は、事前に精神科神経科外来（0798-45-6041）に連絡のうえ予約してください。

## 整形外科診療部長就任のご挨拶



### 整形外科 主任教授／診療部長 橋 俊 哉

2019年8月1日から本学整形外科学の主任教授を拝命致しました。ご挨拶申し上げます。我々整形外科は脊椎、下肢（股関節、膝関節、スポーツ、足）、上肢（肩、肘、手）などの各専門領域に特化し、教員がそれぞれ最新の脊椎外科手術、腱板修復術、靭帯再建術、骨切り術、人工関節置換術、関節固定術などを行っています。その中で私は脊椎疾患を専門としております。腰部脊柱管狭窄症に対する手術では椎弓切除などの除圧術が基本ですが、変性した腰椎は不安定となるすべりや椎間孔狭窄の原因となる側弯などを伴っていることが多く、それ

らの症例には腰椎椎体間固定術を行い確実に治療しております。また、頸椎症性脊髄症や後縦靭帯骨化症などの脊髄障害へは頸部脊柱管拡大術を行います。これらも不安定性や不良なアライメントを伴う症例も多く、その場合は固定術を併用して的確に治療しております。脊椎外傷（骨粗鬆症性骨折を含む）、脊椎感染症、転移性脊椎腫瘍などによる麻痺症例も当院の救命救急センターと連携して積極的に手術加療を行っています。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 開催報告：第18回・第19回・第20回阪神沿線健康講座

「阪神沿線健康講座」は、兵庫医科大学病院と阪神電気鉄道（株）が沿線住民の健康増進による沿線活性化を目的として共同開催しており、今回の講座では第18回（7月24日）は大阪梅田のハービスPLAZAで、第19回（7月31日）は西宮市民会館で、第20回（8月8日）は尼崎市総合文化センターでそれぞれ開催しました。

講座内容は、第18回は脳神経内科の武田正中教授が「認知症の予防と早期発見 ～認知症にならないために～」について講演を行い、113名の参加が、第19回は歯科口腔外科の岸本裕充診療部長が「お口に関する最新情報 ～むし歯・歯周病から舌がんまで～」について講演を行い、89名の参加が、第20回は上部消化管外科の篠原尚診療部長が「胃がんにならない、胃がんには負けない」について講演を行い、73名の参加がそれぞれありました。講演後、参加者との質疑応答も活発に行われ、アンケートでもとても満足度の高い評価を頂くことができました。今後も地域の皆さまの健康増進に資する様々な取組みを展開していく予定です。



## 開催報告：第5回市民健康フォーラム

地域住民の皆様に病気について正しく学び、予防や健康の維持に役立てられるように2019年9月7日、宝塚市立文化施設ソリオホールにて「第5回兵庫医科大学病院 市民健康フォーラム」を開催しました。

今回のテーマは「胃腸のがん治療最前線」で、食道がん・胃がんについては上部消化管外科篠原尚診療部長が、大腸がんについては下部消化管外科池田正孝教授が講演を行いました。当日は、阪神間から235名の方が聴講に訪れました。

アンケート結果では、今回のテーマに関しての理解度と満足度はいずれも高評価であり、「次回も参加したい」とのお声も多く聞かれ、市民の方々の健康への関心の高さをうかがうことができました。

こうしたお声をいただき、病気への予防や健康維持の推進として地域住民の皆様のお役に立てるよう、今後も「市民健康フォーラム」を開催する予定です。



## 兵庫医科大学病院からのお知らせ

### 診療科名の変更について

10月1日付で以下のとおり診療科名が変更となりましたので、お知らせいたします。

「循環器内科」、「冠疾患内科」 → 「循環器内科」 に統合

「リウマチ・膠原病内科」 → 「アレルギー・リウマチ内科」 に名称変更

## 救急ホットライン

医療関係者専用の各科医師への直通電話です。24時間365日、交換手を通さず、各科医師に直接かかります。緊急症例、診療のご相談など何でもお気軽にお電話ください。

☎ 全ての重症疾患もしくは受け入れ先に迷ったら・・・

**0798-45-6812** (救急科医師)

循環器疾患と思ったら

**080-2475-7380** (循環器内科・冠疾患内科医師)

脳疾患と思ったら

**080-2529-8239** (脳神経外科医師)

画像転送用アドレス：hyougo.nougeka@gmail.com